生産性向上人材育成支援センターでは、

70歳までの就業機会の確保に向けた従業員教育を支援しています！

人手不足の深刻化や技術革新が進展する中、中小企業等が事業展開を図るためには、従業員を育成し、企業の労働生産性を高めていくことに加えて、**70歳までの就業機会の確保に向けて企業を支えるミドルシニア世代の「役割の変化へ対応できる能力」や「技能・ノウハウを継承する能力」を育成することが重要です。**

生産性向上人材育成支援センターでは、**生産性向上支援訓練**の新たなメニューとして、令和２年度から**「ミドルシニアコース」**を開始し、中高年齢層の従業員の**“生涯キャリア形成”**を支援しています。

ミドルシニアコースの概要

ミドルシニアコースでは、“従業員のモチベーションの維持”、“後輩への技能継承”など、企業の定年延長や継続雇用等における課題の解決に効果的なカリキュラムをご用意しています。

○訓練で習得できる要素
【役割の変化への対応】
・求められる役割の理解
・メンタリング　など
【技能・ノウハウ継承】
・作業手順の作成方法
・研修技法　など

○受講対象者
45歳以上の従業員の方

○訓練日数
おおむね１～５日
（６～30時間）

○受講料（１人あたり・税込）
3,300円～6,600円

○訓練会場
自社会議室等を会議室とすることが可能です
（企業に講師を派遣します）

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理
•センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースのコーディネート
•相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

・ミドルシニア世代の従業員に、今後のキャリアについて考えさせたい
・ミドルシニア世代の従業員に、組織の中で求められている役割を理解させたい
・従業員の経験を活かした後輩従業員への指導方法を学ばせたい

分野・コース：役割の変化への対応
・中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成
・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
・SNSを活用した相談・助言・指導
・フォロワーシップによる組織力の向上　など

・ミドルシニア世代の従業員が持つ技術やノウハウを見える化したい
・技能継承の指導者の「教える」スキルを向上させたい
・ミドルシニア世代の従業員を講師として、研修や勉強会を開催したい

分野・コース：技能・ノウハウ継承
・クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有
・作業手順の作成によるノウハウの継承
・効果的なＯＪＴを実施するための指導法
・ノウハウの継承のための研修講師の育成　など

訓練受講
•所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

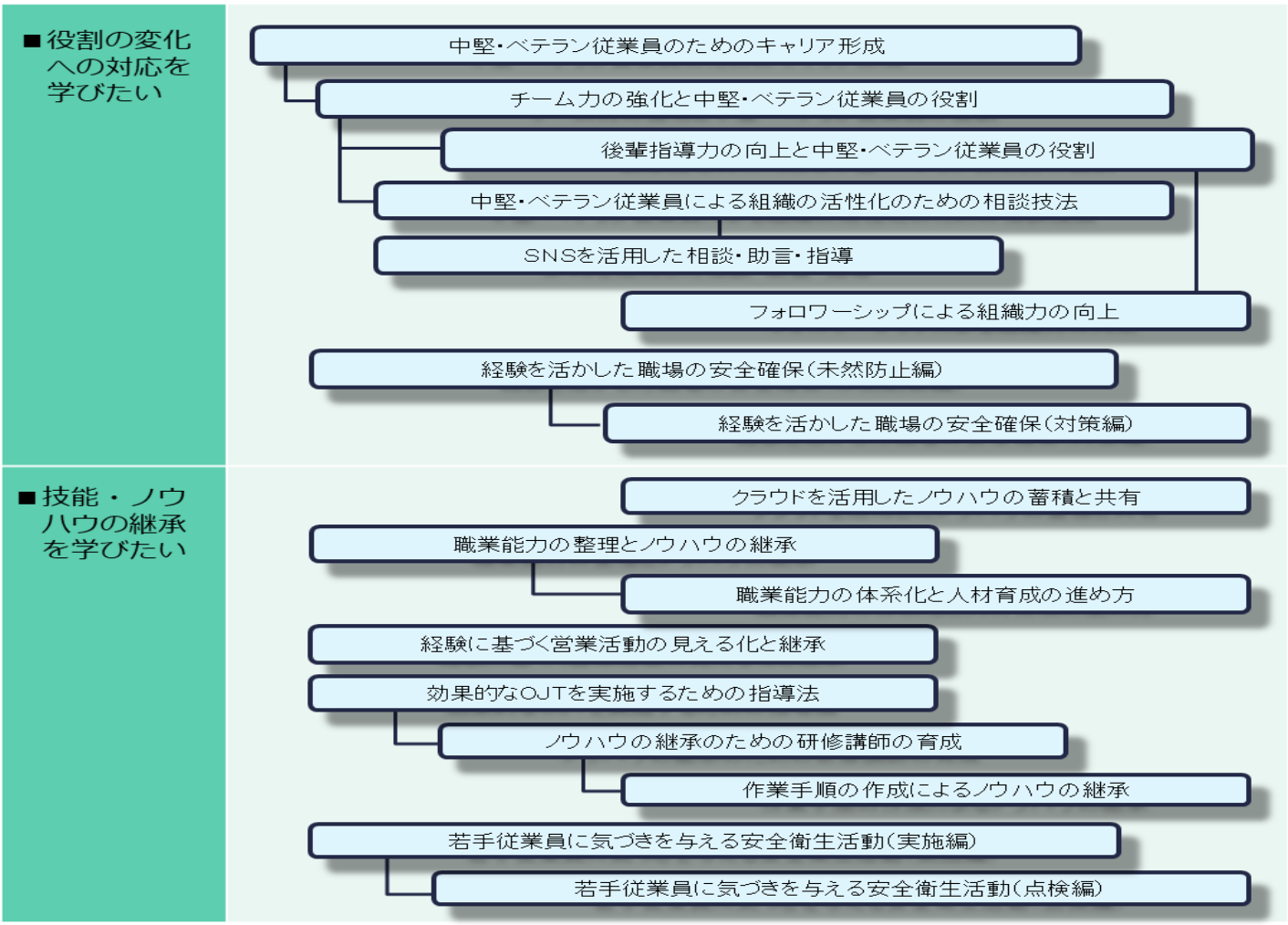
JEED 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
らしく、はたらく、ともに
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

～生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～

（生産性センター紹介ページへ）

（2025.12）

生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース）一覧



ミドルシニアコース利用者の声

株式会社LIMNO

「社内のコミュニケーションの活性化が実感できています。」

利用コース情報

・訓練コース名：
「後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割」ほか
・訓練時期：令和３年２月
・受講者数：延べ28名

プロフィール

・所在地：鳥取県鳥取市
・従業員数：238名
・事業内容：電気機械器具製造

＜訓練を利用した事業主の方の声＞

Q　訓練を利用したきっかけについて、教えてください。

A　３年前から新卒者の採用が本格化し、社内教育体制の確立が急務でした。
新卒者に対しては生産性向上支援訓練の初任層向け研修を活用させていただき軌道に乗り始めていますが、中堅・ベテラン層に対してどうするのか悩んでいました。そのタイミングでミドルシニアコースのご紹介があり、今回受講させていただきました。

＜訓練を受講した従業員の方の声＞

Q　訓練を利用した感想と、今後の抱負をお聞かせください。

A　中堅である自分自身の業務への関わり方、周囲とのコミュニケーション方法などを、一度棚卸したいと思っていました。
　しかし、日々の業務を行いながらではなかなかできず、ちょうどそのタイミングで今回の訓練を受講しました。受講している間は素直に自分と向き合うことができ、自分なりに棚卸ができたと思います。
　職場では、まずグループ内の後輩とのコミュニケーションに目的意識を持つことができました。受講した時のテキストは机に常備して、煮詰まった時・悩んだ時に今でもページをめくっています。時にはテキストにヒントをもらいながら、中堅としてまた頼れる先輩としてステップアップしたいと思います。